

【関連図書一覧表】

金田一 秀穂監修	『日本のもと 日本語』	2011年	講談社
内田 広由紀著	『定本 和の色事典』	2008年	視覚デザイン研究所
広田 千悦子著	『子ども歳時記』	2009年	扶桑社
広田 千悦子著	『おうちで楽しむにほんの行事』	2006年	技術評論社
生越 嘉治著	『言葉づかい [敬語力] トレーニング』	2003年	あすなる書房
金田一 秀穂監修	『言葉の分類－意味と働き』	2008年	あかね書房
金田一 秀穂監修	『類義語・反対語・多義語』	2008年	あかね書房
金田一 秀穂監修	『擬声語・擬態語・ひゆ』	2008年	あかね書房
金田一 秀穂監修	『学校で使う敬語』	2008年	あかね書房
金田一 秀穂監修	『家や近所で使う敬語』	2008年	あかね書房
生越 嘉治著	『小学生のための「正しい日本語」トレーニング初級編』	2000年	あすなる書房
生越 嘉治著	『小学生のための「正しい日本語」トレーニング中級編』	2000年	あすなる書房
生越 嘉治著	『小学生のための「正しい日本語」トレーニング上級編』	2000年	あすなる書房
藤井 國彦監修	『すうじとことば』	1999年	フレーベル館
藤井 國彦監修	『えもじとかんじ』	1999年	フレーベル館
廣瀬 唯二監修	『昔のことば絵事典』	2011年	PHP研究所
高野 紀子著	『和の行事えほん(全2巻)』	2006年	あすなる書房
高野 紀子著	『着物のえほん』	2009年	あすなる書房

※ 教科書119ページにも参考図書が掲載されていますので、そちらもご覧下さい。

めあて

日本語について書かれた文章を読み、学習の見通しをもとう。

☆ これまでの国語の学習をふり返りましょう。

六年間で、日本語についてたくさん学習を積み重ねてきましたね。どんな学習を行ったかをふり返りましょう。



☆ 二つの文章を読んで感じたことや気付いたことなどを書きましょう。

Blank writing area with horizontal dashed lines.

☆ 学習の流れを確認しましょう。

⑨	/	
⑧	/	
⑦	/	
⑥	/	
⑤	/	
④	/	
③	/	
②	/	
①	/	

この学習で、  
がんばりたい  
ことを書きま  
しょう。

☆ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・学習の見通しをもつことができましたか。

◎ ○ △

めあて

二つの文章の要旨を読み取る。

☆ 「雨のいろいろ」「数え方でみかく日本語」を序論、本論、結論に分け、形式段落の番号を表の中に書きましょう。

《文章構成表》

結論	本論	序論	段落
まとめ	雨やその降り方を表す言葉と 季節ごとの降り方の特徴	話題提示	雨のいろいろ
			段落
まとめ	日本語の数え方の役割	話題提示	数え方でみかく日本語

☆ 二つの文章の筆者の主張を表にまとめましょう。

雨のいろいろ	数え方でみかく日本語

じぶんの文章も、筆者の主張は「結論」の部分に書かれていますよ。



☆ 今日の学習をふり返りましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・二つの文章の要旨を読み取ることができましたか。

◎

○

△

めあて

二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取ろう。

☆ 二つの文章の具体例が示されている部分に線を引きましょう。

まず、先生が示した言葉に青色の線を引きましょう。  
次に、その言葉に対応する具体例に赤色の線を引きましょう。



☆ 「雨のいろいろ」の中で、「数え方でみかく日本語」の序論と同じ説明の仕方をしてい  
る部分を見付けて書きましよう。

「数え方でみかく日本語」序論  
数え方を変えるのはめんどろだ  
「つ」や「個」で数えたらどうなるか  
逆に不便になってしまう

物事に対する  
見方を変えて、新  
しい見方を示して  
いますね。



Blank writing area with vertical dashed lines for text alignment.

☆ 二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を表にまとめましよう。

説明の技	

☆ 今日の学習をふり返りましよう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・二つの文章に使われている「筆者の技」を読み取ることができましたか。 ◎ ○ △

【それぞれの教材文の具体例】

	具体例をまとめた言葉や文	具体例
雨のいろいろ	昔から雨をいろいろな名前ですんできました (P98-L4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春雨 ・梅雨 ・五月雨,</li> <li>・夕立 ・時雨 ・みぞれ,</li> <li>・きりさめ ・こぬか雨,</li> <li>・にわか雨 ・通り雨</li> </ul>
	雨が降る様子を表す言葉 (P100-L1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぽつぽつ ・ぱらぱら,</li> <li>・しとしと ・ざあざあ</li> </ul>
	雨の降り方によって, 人々は季節の移り変わりを感じてきた (P100-L6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「春雨」に厳しい冬から解放された喜びを感じた</li> <li>・北国などでは, 冷たい「時雨」に冬が間近にせまっていることを知り, 寒さや雪に対する備えを始めた</li> </ul>
	農耕作業にいろいろな影響をあたえています。 (P100-L10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(都会で生活する人にとってははじめじめしているだけでうっとうしい「梅雨」も, )水田で稲作をする農家の人にとっては, 稲を生育させるために欠かせない大切な雨</li> <li>・梅雨の後半から秋にかけての台風シーズンには, 集中豪雨に見まわれることも少なくありません。田や畑を水害から守ることに絶えず気を配っていなければなりません</li> </ul>
数え方がみがかく日本語	ものを数える機会 (P102-L3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で飼っているペットの数</li> <li>・今日食べたクッキーの数</li> <li>・筆箱の中のえんぴつの数</li> <li>・夏休みに読んだ本の数</li> <li>・「今日の1時間目の社会では, プリントが2枚配られたな。」</li> <li>・「とうふ1丁と, うどん3玉を買う。」</li> <li>・「米2合に水3カップでたく。」</li> </ul>
	「つ」「個」でいろいろなものを数えてみる (P103-L6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うちには1つの犬と二頭のねこがいます。」</li> <li>・「昨日, 3つの友達といっしょに遊びました。」</li> <li>・「新しいノートを4個買いました。」</li> </ul>
	それがどんなものであるのか, 話し手はそれをどうとらえているのかという情報 (P104-L2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「匹」なら小さい動物</li> <li>・「人」なら人間</li> <li>・「冊」なら本や雑誌, ノート</li> </ul>
	数えられるものがどんなものなのかという情報 (P104-L8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物なのか人間なのか</li> <li>・大きいのか小さいのか</li> </ul>
	身近な数え方の疑問 (P106-L8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どれだけ大きな動物になれば「1頭」と数えられるのか</li> <li>・「一軒」と「1戸」は同じなのか</li> <li>・500円玉は「1個」なのか「1枚」なのか</li> </ul>

めあて  
「数え方でみかく日本語」だけに使われている「説明の技」を  
読み取ろう。

☆ 「数え方でみかく日本語」の問いかけ・語りかけが使われている部分に黒の〰線を引きましょう。

問いかけは、読み手に質問している表現です。  
語りかけは、読み手に話しかけている表現です。



☆ 「数え方でみかく日本語」で、ものにたとえている表現を見付けて表にまとめましょう。

		ものにとえている表現
		意味

☆ それぞれの教材文の「説明の技」を表にまとめましょう。

説明の技	
	雨のいろいろ
	数え方でみかく日本語

☆ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・「数え方でみかく日本語」だけに使われている「筆者の技」を読み取ることができましたか。

◎ ○ △

めあて

意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成しよう。

☆ 意見文のテーマを決めましょう。また、その意見文で最も言いたいこと(主張)を一  
文で書きましよう。

テーマ

主張

☆ 「序論」「本論」「結論」の構成で原こうメモを書きましよう。

序論	本論	結論
原こうメモ		
使いたい「説明の技」		

☆ 今日の学習をふり返りましよう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成することができましたか。

◎

○

△

めあて

意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成しよう。

☆ 意見文のテーマを決めましょう。また、その意見文で最も言いたいこと（主張）を一  
文で書きましよう。

テーマ

意味の似ている言葉の使い分け

主張

たくさん日本語に触れながら、日本語に対しての感覚をもっとみがき、正し  
い日本語を使えるようになりたい。

☆ 「序論」「本論」「結論」の構成で原こうメモを書きましよう。

	使いたい「説明の技」
<p>原こうメモ</p> <p>意味の似ている言葉：類義語</p> <p>類義語の具体例：「体験」と「経験」、「家」と「住宅」、「短所」と「欠点」、 「男性」と「男子」</p> <p>類義語を使い分けながら生活している。</p>	<p>問いかけ・語りかけ 具体例</p>
<p>類義語を入れ替えたらどうなるか。</p> <p>・今日は職場経験をします。「パン屋で働いた体験があります。」</p> <p>・友達の住宅で遊ぶ。「家展示場へ行く。」</p> <p>どうかおかしな日本語になる。</p> <p>言葉についての知識を「言葉の引き出し」にたとえる。</p>	<p>見方を変える</p> <p>たとえ</p>
<p>結論</p> <p>・類義語を正しく使い分けるためには、日本語に対しての感覚をみがいてい かなければならない。</p> <p>・たくさん日本語に触れながら、日本語に対しての感覚をもっとみがき、 正しい日本語を使えるようになりたい。</p>	

☆ 今日の学習をふり返りましよう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成することができましたか。

◎ ○ △



# 意見文のテーマ例

## ものの名前

- ・雲の名前
- ・色の名前
- ・食べ物の名前
- ・服の名前
- など

## 文字

- ・漢字の成り立ち
- ・ひらがなとかたかな
- ・いろいろな書体
- など

## 文法

- ・動詞
- ・名詞
- ・様子を表す言葉
- ・敬語
- ・意味の似ている言葉（類義語）
- ・対になる言葉（対義語）
- ・たくさんの意味を持つ言葉（多義語）
- など

## その他

- ・手紙の書き方
- ・物語の読み方
- ・方言と共通語
- など

めあて

日本語についての自分の考えを意見文にまとめよう。

【意見文を書くときの約束】

- 八百字以上千二百字以内で書くこと。
- 「説明の技」を二つ以上使って書くこと。

☆ 意見文を書くときに使った「説明の技」を確認しましょう。

「説明の技」を使ったら、表の下のチェックのわ  
くに○を付けましょう。



「説明の技」	どんな技か	チェック
具体例	たくさんの具体例を挙げる。	
見方を変える	物事に対する見方を変えて、新しい見方を示す。	
問いかけ・語りかけ	読み手に質問したり話しかけたりする。	
たとえ	読み手がイメージしやすいものにたとえて説明する。	

☆ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・日本語についての自分の考えを意見文にまとめることができましたか。

◎ ○ △





「友達の家で遊ぶ」。「住宅展示場へ行く」  
の場合はどうでしょうか。「家」と「住宅」  
を入れかえたら、「友達の住宅で遊ぶ」。「家  
展示場へ行く。」となってしまうます。なん  
だかおかしいですね。  
このように「体験」と「経験」、「家」と  
「住宅」では、意味は似ていても使い方が異  
なっていることが分かります。類義語の使い  
分けをまちがってしまっていると、どこかおかしい  
日本語になってしまふのです。そればかりか  
言いたいことが相手に正確に伝わらないこと  
もあるかもしれません。  
言葉で何かを伝えるとき、そもそも知って  
いる言葉が少ないと、最もふさわしい言葉を  
選ぶことができません。言葉についての知識  
を「言葉の引き出し」にたとえてみましょう。  
たくさんの引き出しの中から、最もふさわ  
しい言葉を選んで取り出すことができれば、  
上手に日本語を使えるようになります。逆に  
引き出しの中身が少なかったり、すぐに取り

出せるように整理できていなかったりしたら  
日本語を正しく使えないままに生活していく  
ことになりました。  
わたしは、この六年間で日本語についてた  
くさんのことを学びました。そして、これか  
らも毎日日本語を使いながら生活していきま  
す。類義語を正しく使い分けるためには、日  
本語に対しての感覚をみがいていかなければ  
なりません。本を読んだり、様々な情報を受  
け取ったりしていく中で、たくさんの日本語  
にふれながら、日本語に対しての感覚をもつ  
とみがき、「言葉の引き出し」をどんどん増  
やしていきたいです。そして、正しい日本語  
を使えるようになりたいです。

めあて

お互いの意見文を読み合って、感想を交流しよう。

☆ 意見文を読んでもらったグループの人に感想を書いてもらいましょう。

名前	意見文を読んだ感想

☆ これからの日本語とのかかわり方について考えたことを書きましょう。

--

☆ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・友達の意見文についての感想をもつことができましたか。	◎ ○ △
-----------------------------	-------

・これからの日本語とのかかわり方について考えることができましたか。	◎ ○ △
-----------------------------------	-------

めあて

お互いの意見文を読み合って、感想を交流しよう。

☆ 意見文を読んでもらったグループの人に感想を書いてもらいましょう。

名前	A児	B児	C児
意見文を読んだ感想	意味が似ている言葉を「類義語」と言うことを初めて知りました。類義語の具体例を書いていたのでよく分かりました。	「説明の技」を四つとも使っていてすごいなと思いました。特に、言葉についての知識を「言葉の引き出し」にたとえているところが良かったです。私も、正しい日本語を使えるように「言葉の引き出し」を増やしていこうと思いました。	類義語を入れかえたときの「家展示場へ行く」という言葉がおもしろかったです。類義語のことをよく調べているなと思いました。

☆ これからの日本語とのかかわり方について考えたことを書きましょう。

これまで当たり前のように日本語を使って生活していましたが、日本語にはおもしろいことや不思議に思うことがたくさんあることに気付きました。これからも、日本語を使いながら生活していくので、正しい日本語を使えるようになりたいです。

☆ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・友達の意見文についての感想をもつことができましたか。

◎ ○ △

・これからの日本語とのかかわり方について考えることができましたか。

◎ ○ △



めあて

日本語について書かれた文章を読み、学習の見通しをもとう。

教科書96ページの図を拡大したもの

感想

(例)・「雨のいろいろ」は、雨の呼び方について書かれている。

・「数え方でみがく日本語」は、ものの数え方について書かれている。

・どちらも日本語について書かれている。

⑨	/	意見文を読み合い、学習を振り返る
⑧	/	日本語についての考えを意見文にまとめる
⑦	/	日本語についての考えを意見文にまとめる
⑥	/	意見文のテーマを決定し、原稿用紙を作成する
⑤	/	意見文のテーマを決定し、原稿用紙を作成する
④	/	「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取る
③	/	二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取る
②	/	二つの文章の両方を読み取る
①	/	学習の見通しをもつ

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」① 活動のねらい

日本語について関心をもち、学習の見通しをもたせるようにする。

※ 事前に、日本語の特性について書かれている本を教室に並べておきます。  
(別紙「関連図書一覧表」を参照してください)

1 小学校での国語の学習を振り返らせる。

○ 教科書九十六ページの図を見せながら、これまでに国語で学習してきたことを振り返らせる。

※ 一年生から六年生までの国語の教科書を見せながら準備させておくと、これまでの学習を振り返らせるのに便利です。グループに一セットあれば十分です。

2 「雨のいろいろ」「数え方でみがく日本語」を読み、感想を発表し合う。

○ 二つの教材文を読み、感じたことや気付いたことなどをワークシートに書かせる。

○ どちらも日本語の特性について書かれている文章であることに気付かせる。  
※ 二つの教材文をA3用紙一枚に上下に並べて印刷した物を配布しておくこと、比べながら読ませるのに便利です。それを拡大印刷して教室内に掲示することもできます。

3 学習の流れを確認する。

○ 黒板に学習計画表を提示し、日本語について考えたことを意見文にまとめることを伝える。

○ 教材文のそれぞれの筆者の叙述の工夫(「説明の技」)を読み取り、それを生かして意見文にまとめるという学習の見通しをもたせる。

※ 児童全員分の意見文を卒業文集に掲載することを知らせることで、小学校の国語の学習の総まとめであるという意識をもたせることができます。

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ この学習でがんばりたいことをワークシートに書かせる。

評価 日本語について関心をもち、見通しをもって学習に取り組もうとしている。  
(関)

○ ワークシートで自己評価をさせる。

○ 次時は、二つの文章の要旨を読み取っていくことを知らせる。

めあて

二つの文章の要旨を読み取ろう。

《文章構成表》

結論	本論	序論	雨のいろいろ
⑧	⑦～②	①	
まとめ	雨やその降り方を表す言葉と季節ごとの降り方の特徴	話題提示	数え方でみかく日本語
⑫～⑩	⑨～⑥	⑤～①	
まとめ	日本語の数え方の役割	話題提示	

《二つの文章の筆者の主張》

雨のいろいろ	日本人は昔から季節ごとの雨に関心をいだき、多くの名前を付けたのだと考えることができませう。
数え方でみかく日本語	身近な数え方の疑問について、自主練習で日本語の力をみかく、これも「言葉の筋力」を呼び覚ます方法の一つだと思えます。

【2 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」②  
本時のねらい

二つの文章の要旨を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 学習計画表を基に前時の学習を振り返らせ、本時の学習の見通しをもたせる。
- ※ 学習計画表は教室に掲示し、いつでも児童が確認できるようにしておくとする。

2 「雨のいろいろ」「数え方でみかく日本語」を序論、本論、結論に分ける。

- それぞれの教材文を形式段落に分けさせる。
- ワークシートの文章構成表を基に、二つの文章の形式段落を序論、本論、結論に分類させることで、大まかな内容を読み取らせる。
- ※ 文章構成表の「雨やその降り方を表す言葉と季節ごとの降り方の特徴」「日本語の数え方の役割」という言葉を手掛かりにして、どちらの教材文も、まず本論がどの部分になるのかを考えていくと分けさせやすいです。

3 二つの文章の筆者の主張を読み取る。

- これまでの説明的な文章の学習を想起させ、序論の問題提示や話題提示を受けて、結論に筆者の主張が書かれているという文章構成を把握させる。
- それぞれの文章の筆者の主張が書かれている部分を見付けさせ、教材文に線を引かせる。
- どこに線を引いたか発表させ、全体の共有化を図る。
- 二つの文章の筆者の主張について、ワークシートの表にまとめさせる。

評価 二つの文章の要旨を読み取っている。

文章全体の構成を理解している。

(読ウ)  
(言イ)(キ)

4 本時の学習の振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 意見文にまとめるときには、二つの教材文と同じように序論、本論、結論の文章構成で書くことを伝える。
- ワークシートで自己評価をさせる。
- 次時は、二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取っていくことを知らせる。

めあて

二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取る。

具体例

昔から雨をいろいろな名前前で呼んできました

「春雨」「梅雨」「五月雨」「夕立」「時雨」

「みぞれ」「きりさめ」「こぬか雨」

「にわか雨」「通り雨」

見方を変える

「数え方でみがく日本語」序論

数え方を変えるのはめんどうだ

「つ」や「個」で数えたらどうなるか

逆に不便になってしまう

《二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」》

説明の技	
示す	物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方をしている。
読む	たくさんの具体例を挙げながら説明している。

【3 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」③  
本時のねらい

二つの文章のどちらの文章にも使われている「説明の技」を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に前時までの学習を振り返らせ、本時は二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取るという見通しをもたせる。

2 二つの文章に挙げられている具体例を読み取る。

○ 具体例をまとめた言葉を教師が示し、青い線を引かせる。

※ 「それぞれの教材文の具体例」(別紙)を参考にして、具体例をまとめた言葉を示してください。

○ 教師が示した言葉に対応する具体例に赤い線を引かせる。

○ 赤い線を引かせながら、どちらの文章にも具体例が数多く示されていることに気付かせる。

3 物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方を読み取る。

○ 「数え方でみがく日本語」の序論を読ませ、物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方が用いられていることに気付かせる。

※ 「しかし」「それなら」という接続語に着目させると気付かせやすいです。

○ 「雨のいろいろ」で同じような論の進め方が用いられている部分を見付けさせる。  
・ 雨は、地球上のどこで降っても呼んできました。(九十八ページ三行目から)  
・ 世界の多くの国々では：多いのです。(百ページ三行目から)  
・ 都会で生活する人にとっては：大切な雨です。(百ページ十行目から)

4 二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」をまとめる。

○ 「説明の技」についてワークシートの表に整理して書かせる。

評価 二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取っている。

(読ウ)

5 本時の学習の振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 意見文にまとめるときには、筆者の「説明の技」を使いながら書くことを伝える。

○ ワークシートで自己評価をさせる。

○ 次時は、「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取っていくことを知らせる。

めあて

「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取ろう。

問いかけ・語りかけ

〈問いかけ〉

- ・ 過ぎすことはできませんでしょうか
- ・ 思ったことはありませんか

〈語りかけ〉

- ・ 出てくることでしょう
- ・ 感じる人もいるでしょう

たとえ

ものにとえ ている表現	意 味
数え方の箱	数えられるものがどんなものなのか という情報を入れることができる箱
言葉の筋力	言葉が本来持っている力

〈二つの文章に使われている説明の技〉

説明の技	雨のいろいろ	数え方でみがく日本語
・ 具体例 ・ 見方を変える		
		・ 具体例 ・ 見方を変える ・ 問いかけ・語りかけ たとえ

【4 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」④  
本時のねらい

「数え方でみがく日本語」だけに使われている叙述の工夫を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に前時の学習を振り返らせ、本時は「数え方でみがく日本語」だけに使われている読み取るという見通しをもたせる。

2 「数え方でみがく日本語」の問いかけや語りかけの表現を見付ける。

○ 問いかけや語りかけが使われている部分に黒のくく線を引かせる。  
※ 「雨のいろいろ」百ページ四行目の「日本にはなんと雨やその降り方を表す言葉が多いのでしよう。」は、感嘆の表現です。問いかけや語りかけの表現には当てはまりません。

3 「数え方でみがく日本語」の比喩表現を見付ける。

○ 「数え方の箱」「言葉の筋力」という言葉を見付けさせる。  
○ 「数え方の箱」「言葉の筋力」が、それぞれどのようなことを表しているのかをワークシートの表に書かせる。

4 それぞれの教材文の「説明の技」をまとめる。

○ 前時と本時に読み取った「説明の技」についてワークシートの表にまとめさせる。  
○ 「雨のいろいろ」には、問いかけ・語りかけの表現や比喩表現が使われていないことを確認する。

評価 「数え方でみがく日本語」だけに使われている叙述の工夫を読み取っている。  
(読ウ)

5 本時の学習の振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 意見文にまとめるときには、「説明の技」を使いながら書くことを伝える。  
○ ワークシートで自己評価をさせる。  
○ 次時は、意見文の原稿メモを作成することを知らせる。

めあて

意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成しよう。

活動の流れ

## ① 意見文のテーマを決定する

- 敬語
- 共通語と方言
- 色を表す言葉 など

## ② そのテーマにふさわしい情報を集める

- これまでの国語の教科書や日本語の特性について書かれた本から情報を集める

## ③ 原こうメモを作成する

- 「序論」「本論」「結論」の順序で書くこと
- 「説明の技」を二つ以上使って書くこと
  - ・ 具体例
  - ・ 見方を変える
  - ・ 問いかけ・語りかけ
  - ・ たとえ

【5・6 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」⑤  
本時のねらい

日本語についての自分の考えをもたせ、原稿メモを作成させる。

## 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 日本語についての意見文のテーマを決定し、原稿メモの作成を行うことを確認させる。

○ 板書を基に、活動の流れを把握させる。

※ これまでの国語の教科書や日本語の特徴について書かれた本を準備しておき、意見文のテーマを決定させる際に読めるようにしておきます。

※ 児童の思考が途切れないように、二時間連続で行うことが望ましいです。

## 2 意見文のテーマを決定する。

○ 何のテーマについて意見文にまとめるのかをワークシートに書かせる。

○ その意見文で最も言いたいこと（主張）を一文でワークシートに書かせる。

※ 意見文のテーマを決定させる際、「意見文のテーマ例」（別紙）を参考にしてください。

※ テーマを決定させるだけではなく、どのような主張を行うのかを考えさせることが重要です。

## 3 テーマにふさわしい情報を集める。

○ これまでの国語の教科書や日本語の特性について書かれた本から情報を集めさせる。

※ 必要に応じて、付せんを貼らせたりコピーを取っておかせたりすると便利です。

## 4 原稿メモを作成する。

○ 「序論」「本論」「結論」の順序で、ワークシートに書かせる。

○ 「説明の技」を二つ以上使うという約束を提示し、原稿メモの下に使いたい「説明の技」を記入させる。

※ 筆者の「説明の技」を二つ以上使って書くという約束を提示するとき、どのような「説明の技」があるのかを前時のワークシート④を使ってもう一度確認させましょう。

評価 これまでの国語の教科書や日本語に関して書かれた本の中から、自分の考

えにふさわしいものを選んで読んでいる。

文章全体の構成を理解している。

(読力)  
(言イ(キ))

## 5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ ワークシートに自己評価を記入させる。

○ 次時からは、原稿メモを基に、日本語についての考えを意見文にまとめていくことを確認させる。

めあて

日本語についての自分の考えを意見文にまとめよう。

意見文を書くときの約束

- 八百字以上千二百字以内で書くこと。
- 「説明の技」を二つ以上使って書くこと。

筆者の「説明の技」

具体例

たくさんの具体例を挙げる。

見方を変える

物事に対する見方を変えて、新しい見方を示す。

問いかけ・語りかけ

読み手に質問したり話しかけたりする。

たとえ

読み手がイメージしやすいものにたとえて説明する。

【7・8 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」⑥  
本時のねらい

日本語についての自分の考えを意見文にまとめさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 前時に作成した原稿メモを基に、前時の学習を振り返らせる。

○ 板書やワークシートを基に、意見文を書くときの約束を確認させる。

※ 児童の思考が途切れないように、2時間連続で行うことが望ましいです。  
※ 板書やワークシートを基に、「説明の技」についても一度確認させましょう。

2 自分の意見を意見文にまとめる。

○ 原稿メモを基に、意見文を書かせる。

※ 「意見文用原稿用紙」（別紙）に書かせてください。意見文は文集にしますので、原稿用紙の大きさや向き、枚数などは、文集の形式に合わせて変更してください。

○ 「説明の技」を二つ以上使っているかを確認させるために、ワークシート⑥の表の下にあるチェックの枠に○を付けさせましょう。

3 意見文を推敲する。

○ 文字の間違いや表現がおかしいところがないか、何度も読み返させる。  
※ 文集に掲載するので、十分に推敲させ、教師も目を通しておきましょう。

評価 日本語についての自分の考えを意見文にまとめている。

(読才)

4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ ワークシートに自己評価を記入させる。  
○ 次時は、意見文を読み合い、感想を交流することを確認させる。

めあて

お互いの意見文を読み合って、感想を交流しよう。

学習の流れ

## ① グループで意見文を読み合う。

○ 自分の意見文とワークシートを読んでもらう人に渡す。

○ 意見文を読んでもらったら、自分のワークシートに感想を記入してもらう。

○ 次の人に渡す。

## ② グループの代表者が意見文を発表し、感想を交流する。

○ 代表者の意見文の発表を聞く。

- ・ どんな主張をしているか
- ・ どんな「説明の技」を使っているか
- ・ 自分の意見文とのちがいはあるか

○ 感想を交流する。

## ③ 学習を振り返る。

【9 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」⑦  
本時のねらい

意見文を読み合って感想を交流し、学習の成果を実感させる。

## 1 本時のめあてを確認する。

○ 板書を基に、本時の学習の流れを確認させる。

## 2 グループ内で意見文を読み合う。

○ グループ内で意見文を交換して読み合い、感想をワークシートに記入させる。  
※ ワークシートは四人グループの設定で、三人分の感想を書いてもらえるようにしています。グループの人数に応じてワークシートを一人につき二枚渡すなどしてください。

## 3 グループの代表者が意見文を発表し、感想交流を行う。

○ 代表者を決定し、発表させる。  
※ 代表者は立候補などで決定してください。場合によっては事前に決定しておくことも考えられます。  
※ 発表を聞いた感想を交流させる。  
○ 次の観点で聞かせて、感想を交流させましょう。  
・ 発表者の主張について  
・ 発表者が使っている「説明の技」について  
・ 自分の意見文との違いについて

## 4 これからの日本語との関わり方について考える。

○ これからの日本語との関わり方について考えたことをワークシートに記入させる。

評価 友だちの意見文についての感想を述べ、日本語との関わり方について考えようとしている。  
これからの日本語との関わり方についての考えを広げたり深めたりしている。  
(読才)

## 5 学習を振り返る。

○ ワークシートに自己評価を記入させる。